

令和２年度第２回気象庁入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所		令和3年2月16日(火) 気象庁会議室2(Web開催)	
委員		委員長 左 近 輝 明(弁護士) 委員 浅 野 正 一 郎(国立情報学研究所名誉教授) 委員 杉 本 洋 文(株計画・環境建築代表取締役会長)	
審議対象期間		令和2年4月1日～令和2年9月30日	
契約の現状の説明等		入札・契約手続の運用状況等の報告	
総抽出案件		4件	〈 備 考 〉
工事	一般競争	2件	
	指名競争	0件	
	随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等	一般競争	0件	
	指名競争	0件	
	随意契約	0件	
物品・役務等	一般競争	2件	
	指名競争	0件	
	随意契約	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等		別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし	

意見・質問	回答
1. 入札・契約手続の運用状況等の報告	
意見等なし	
2. 気象衛星センター第一庁舎UPS電源増設工事(気象衛星センター) 【工事、一般競争入札】	
参考見積を工事業者に依頼していますが、専門業者にも依頼すべきではありませんか。 積算数量は誰が拾っているのですか。 設計を委託しているのであれば積算まで委託するのが一般的ではないのですか。委託業者であれば専門業者から見積を徴取すると思われます。 工事名はUPS電源増設工事ですが、工事の内容は電源を増設する工事ではなく分電盤の工事です。案件名が適切ではなかったことが応札者の数に影響したのではないですか。	工事業者以外に専門業者を見つけられなかったことや、設計図を見ないと見積を作れないといった事情もあり結果的に工事業者のみとなりました。 設計委託をした業者が行なっています。 工事内容が複雑ではなかったため職員が行いましたが、参考見積書の徴取や積算を含めて、委託業者にお願いすることについて検討します。 案件名からはUPS電源本体の工事のように思われるので、今後は入札公告にあたり契約概要を最初に閲覧できるように変更するとともに、分かりやすい案件名とするよう心掛けます。
3. 中部航空地方気象台航空統合気象観測システム施設整備工事(東京管区気象台) 【工事、一般競争入札】	
設計はどのように行ったのですか。 外注の業者が見積もったものがこの予定価格ですか。 本案件は高額な工事ですが、空港における工事の特殊性はないので、普通の工場などでのケーブル工事について市場調査を行い比較はしていないのですか。 内訳書を見ると夜間作業が多いですが、ほとんどの工事を夜間に行うのですか。昼間の作業とは区別しているのでしょうか。	設計は外注しております。 設計以外に数量計算と積算も外注しておりますが、予定価格の算定にあたっては、直近の市場価格に置き換えておりますので、そのままではありません。 ご質問のような比較は行ったことはありません。 工事によっては昼間にできるものもありますので、昼間と夜間とを分けて積算しております。

意見・質問	回答
4. 気象庁情報システム基盤(Ⅱ期(その1))の製作及び借用(リース)・取付調整・保守並びに運用支援(気象庁本庁)【物品・役務等、一般競争入札】	
一者応札という結果ですが、仕様書は特定の者に有利とならないように作成しましたか。 意見招請は行ったのですか。 どのくらいの意見がありましたか。 意見招請での意見は反映させたのですか。 ハードウェアの仕様が微細に渡っており、ここまで書き込まないといけないのでしょうか。今回は先に仕様が出たので意見招請をしても意見の出しようがなく意見の件数が少なかったのではないかと思います。これからはこのような基盤の調整からの調達については、事前に何か委員会のような機会を設ける必要があるのではないのでしょうか。	情報システム基盤の第Ⅱ期ということで、第Ⅰ期と同様に仮想化技術によりハードウェアとソフトウェアをできるだけ分離する仕様としております。第Ⅰ期は複数応札でしたが、第Ⅱ期は、地震火山業務のうち一部のハードウェアについて、仮想化を使わない方式を採用した部分があり、そういった点が敬遠された可能性があるのではないかと考えます。 意見招請をしております。 7社ほどから75件の提案や意見、質問等がありました。 セキュリティ要件への提案、ハードウェア要件への意見、仕様書の中身についての質問を反映させました。 情報システムの調達におきましては、政府のデジタル・ガバメント実行計画により、今年度まだ一部の省庁ではありますが、機動的かつ効率的、効果的な情報システム整備に資するよう契約締結前に複数事業者と提案内容について技術的対話を可能とする調達・契約方法が試行運用されました。政府全体としてこのような新たな手法をどう取り入れていくのかは今後検討されていくものと認識しております。また、入札監視委員会を通じて次期システムへの反映というのも適切な何かそういったものに繋げていくものと思っております。
5. 予報作業支援システムの制作及び気象庁情報システム基盤への導入調整並びに保守(気象庁本庁)【物品・役務等、一般競争入札】	
要件定義書に操作に関することがたくさん書いてありますが、何かイメージがあつてのことでしょうか。 一者応札の原因は、仕様が特殊なため、そのときの技法が使えなく、参加したくないと考える者がいたのではないですか。 作業の状況はいかがですか。	使用者の操作感が変わらないように、作業効率の改善を踏まえた微細な操作・画面表示を仕様に記述しました。 予報作業は非常に重要な作業なので、過去の経緯も踏まえて、ドラスティックに業者に提案をしてもらうよりは、こちらの方でベストな形態を仕様にしていこうと望ましいと考えております。 作業につきましては工程通り進んでおります。
6. 審議の結果	
今回審議した過程において、幾つかの指摘がありましたが、それらを参考にしまして、今後も適正かつ公正な入札・契約手続を実施されるよう、よろしくお願いします。	